

2021年3月17日 全8頁

## Indicators Update

# 2021年2月貿易統計

春節や寒波の影響で輸出は減少も均せば横ばい

経済調査部 エコノミスト 鈴木 雄太郎  
エコノミスト 岸川 和馬

### [要約]

- 2021年2月の貿易統計によると、輸出金額は前年比▲4.5%とコンセンサス(同▲0.2%)を下回った。季節調整値で見ると、前月比▲4.7%と3ヶ月ぶりに減少した。もっとも2月の減少は春節の影響で中国などアジア向けの輸出が減少したことや、米国における寒波の影響など特殊要因によるところが大きい。
- 輸出数量(大和総研による季節調整値)は前月比▲5.1%と2ヶ月ぶりに減少した。地域別に見ると、EU向け(同+1.8%)は増加したものの、アジア向け(同▲9.1%)、米国向け(同▲4.3%)は減少した。
- 先行きの輸出は、回復基調に転換するとみている。とりわけ追加の経済対策が実施される米国向け、高水準のインフラ投資が見込まれる中国向け輸出が全体をけん引するとみられる。また、欧州向けも足元では底打ちの兆しが見られ、回復に転じるとみている。

## 【貿易金額】春節や寒波の特殊要因を考慮すると輸出はおおむね横ばい

2月の貿易統計によると、輸出金額は前年比▲4.5%とコンセンサス(同▲0.2%)を下回った(図表1)。季節調整値で見ると、前月比▲4.7%と3ヶ月ぶりに減少した。コンセンサスを下回ったのは、米国における寒波の影響が大きかったことが要因として挙げられる。また、中国が春節期間に移動制限をかけていたため、春節後の工場再稼働が例年より早まったことを考慮して、輸出の減少幅を小さく想定していた可能性がある。2月の輸出は寒波や春節といった特殊要因によって押し下げられており、これらを考慮すると実勢は数字が示すほど悪くない。

2月の税関長公示レートは104.50円/ドルと前年比4.6%の円高となった。2月中旬以降、対ドル為替相場は円安方向に推移しており、足元の為替相場が継続すれば、前年比で見た為替水準が円安に転じるため、輸出価格の押し上げに寄与するとみられる。

### 図表1：貿易統計の概況

		2020年							2021年	
		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
原系列 前年比 %	輸出金額	▲26.2	▲19.2	▲14.8	▲4.9	▲0.2	▲4.2	2.0	6.4	▲4.5
	コンセンサス									▲0.2
	DIRエコノミスト予想									▲0.0
	輸入金額	▲14.1	▲22.0	▲20.4	▲17.1	▲13.1	▲11.0	▲11.5	▲9.5	11.8
	輸出数量	▲26.9	▲21.9	▲14.8	▲7.7	▲1.6	▲3.9	▲0.1	5.3	▲4.3
	価格	1.0	3.5	0.1	3.0	1.5	▲0.2	2.1	1.0	▲0.2
	輸入数量	▲0.6	▲13.8	▲11.3	▲8.1	▲5.5	▲2.1	▲2.0	▲4.3	22.0
価格	▲13.6	▲9.5	▲10.3	▲9.8	▲8.0	▲9.1	▲9.7	▲5.4	▲8.4	
	貿易収支(億円)	▲2,909	▲148	2,280	6,674	8,582	3,558	7,447	▲3,254	2,174
季節 調整値 前月比 %	輸出金額	4.1	9.7	6.0	8.4	3.5	▲1.2	2.3	3.8	▲4.7
	数量	4.5	6.3	10.5	2.6	6.6	3.7	▲1.2	2.6	▲5.1
	価格	▲0.3	3.1	▲4.1	5.6	▲2.9	▲4.7	3.6	1.2	0.4
	輸入金額	▲1.6	▲1.8	1.2	2.8	3.5	▲1.7	0.7	7.3	4.7
	数量	0.1	▲2.7	0.1	0.6	4.7	0.8	0.5	▲2.9	7.6
	価格	▲1.7	1.0	1.1	2.3	▲1.2	▲2.5	0.2	10.5	▲2.7
		貿易収支(億円)	▲5,553	33	2,572	5,718	5,929	6,148	7,190	5,511
	税関長公示レート	107.78	107.23	106.19	105.96	105.51	104.68	104.11	103.57	104.50

(注1) 税関長公示レートは円/ドルレート。コンセンサスはBloomberg。

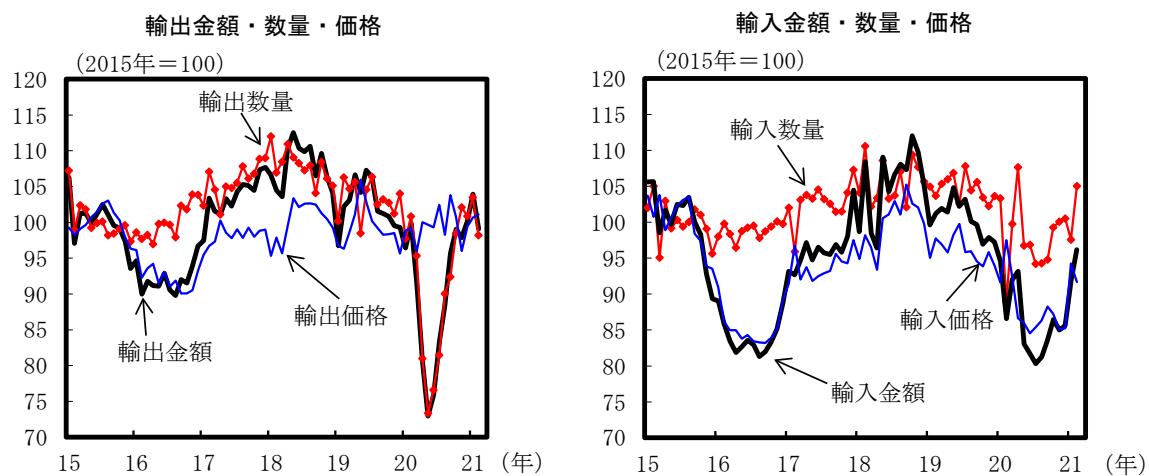
(注2) 数量と価格の季節調整値は大和総研による。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

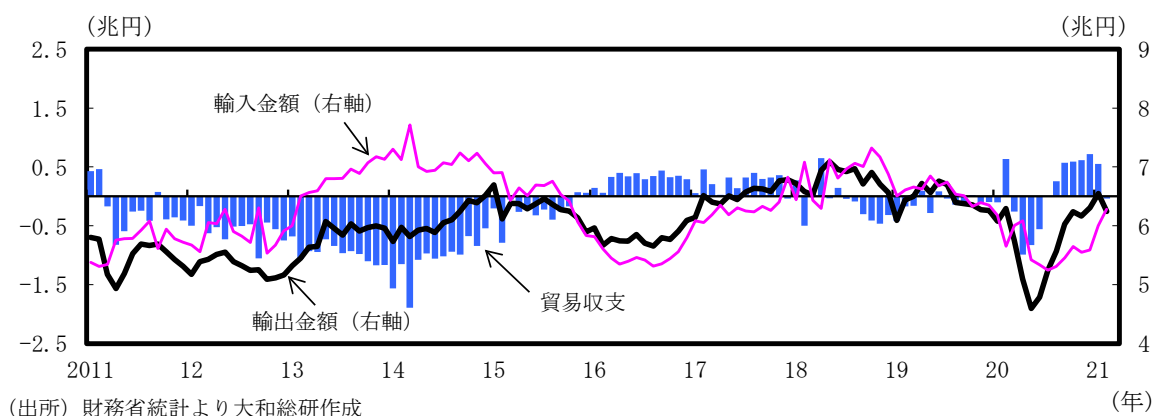
2月の輸入金額は前年比+11.8%、前月比(季節調整値)で+4.7%であった。輸入金額は前月比で見ると3ヶ月連続で増加した。輸入金額を数量・価格に分解すると、輸入数量は同+7.6%と増加したのに対し、輸入価格は同▲2.7%と3ヶ月ぶりに下落した。液化石油ガスや揮発油などのエネルギー関連の輸入増が押し上げに寄与した。

この結果、貿易収支は2,174億円の黒字となった。季節調整値では輸入の回復継続を受け、▲387億円と8ヶ月ぶりに赤字となった。

図表 2 : 輸出金額・数量・価格、輸入金額・数量・価格（季節調整値）



図表 3 : 輸出、輸入、貿易収支（季節調整値）



## 【輸出数量】春節の影響でアジア向けは大幅減 / 寒波の影響で米国向けも減少

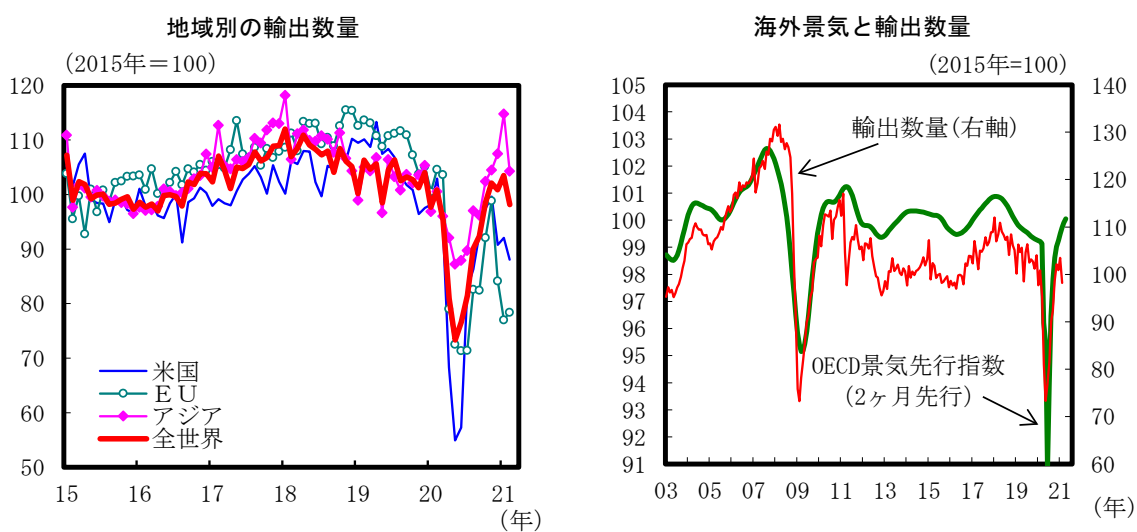
2月の輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比▲5.1%と2ヶ月ぶりに減少した。地域別に見ると、EU向け（同+1.8%）は増加したものの、アジア向け（同▲9.1%）や米国向け（同▲4.3%）は減少した。

EU向け輸出は各国における感染拡大防止策の実施や、ドイツにおけるVAT減税の終了によって12月以降減少していたが、底打ちの兆しが見られる。品目別に見ると、輸送用機器や原動機が全体を押し上げた。輸送用機器ではバス・トラックが大幅に増加しており、全体を押し上げている。ただし水準で見ると、米国や中国向けと比べ低水準にとどまっている。

アジア向け輸出は中国における春節の影響などによって5ヶ月ぶりに減少した。春節の影響を考慮するため、21年1-2月平均を20年12月と比較すると、+1.9%と20年6月以降の増加基調を維持している。単月の動きを品目別に見ると、非鉄金属や電算機類の部分品が減少した。

米国向け輸出は2ヶ月ぶりに減少した。記録的な寒波によって、一部の港湾が一時閉鎖されたことが影響した可能性がある。品目別に見ると、乗用車や電算機類（含周辺機器）が減少に寄与した。

図表4：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



(注1) OECD景気先行指数 (CLI) はOECD諸国とBRICsなど非加盟6ヶ国を集計したベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 内閣府、財務省、OECD統計より大和総研作成

## 【見通し】回復基調へ転換する見込み

先行きの輸出については、足踏みから回復基調へ転換するとみている。とりわけ、追加の経済対策が実施される米国向け、高水準のインフラ投資が期待される中国向け輸出が全体をけん引するとみられる。

国別に見ると、米国向けは底堅く推移するとみられる。2020 年末に成立した追加の経済対策によって 1 人当たり最大 600 ドルの現金給付や失業保険の拡充が実施され、1 月の小売売上高を大きく押し上げた。3 月中旬には 1.9 兆ドル規模追加経済対策（ARP 法）が成立し、1 人当たり 1,400 ドルの現金給付、失業給付の上乗せで期間の延長も決定した。こうした対策によって個人消費は底堅く推移し、輸出の押し上げ要因となろう。

欧州向け輸出も持ち直すとみている。先述の通りドイツにおける VAT 減税の影響によって伸び悩んでいたが、この影響が一巡した可能性がある。とりわけ欧州向け輸出の主力品目である乗用車の輸出は持ち直しており、全体を下支えするとみている。

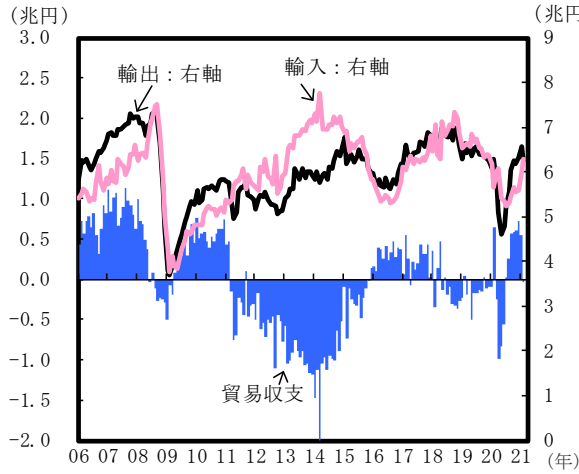
これまで輸出全体を押し上げてきた中国向けについても底堅く推移するとみている。全国人民代表大会において、インフラ投資に重用される地方政府特別債券の 2021 年の発行額は 3.65 兆元と 2020 年の 3.75 兆元から僅かな減額にとどまった<sup>1</sup>。旺盛なインフラ投資需要を背景に、中国向けの中間財輸出も全体を押し上げるだろう。

ただし、足元では中国から欧米向けのコンテナ船の運賃価格が急騰している。背景には、中国からの輸出需要の増加によって待機時間が発生していることなどが挙げられる。そのため、輸出先の景気回復に対して輸出が遅行する可能性がある点には留意する必要がある。

<sup>1</sup> 詳細は齋藤尚登「[中国：21 年の政府成長率目標は 6.0%以上](#)」（2021 年 3 月 5 日、大和総研レポート）を参照。

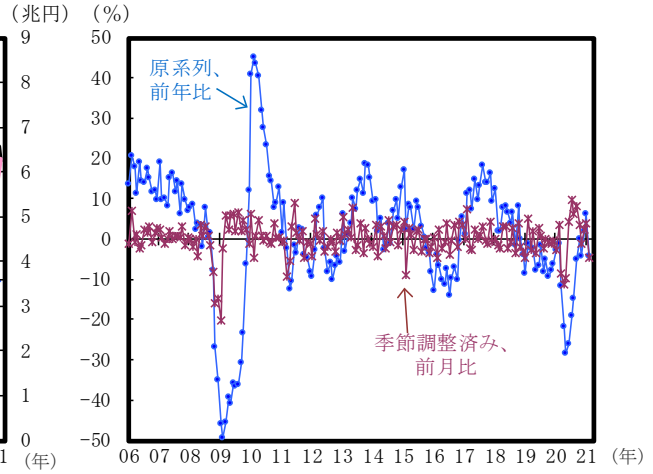
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

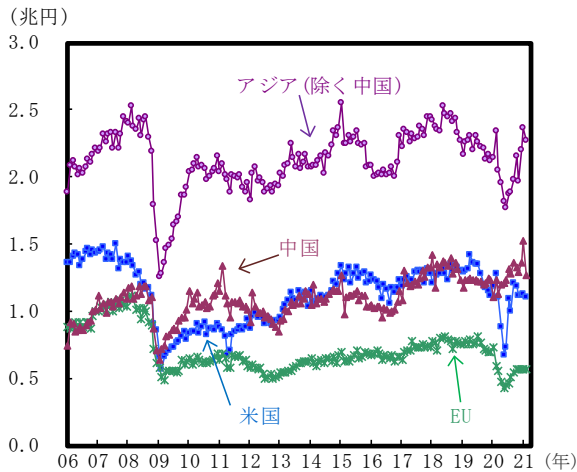


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

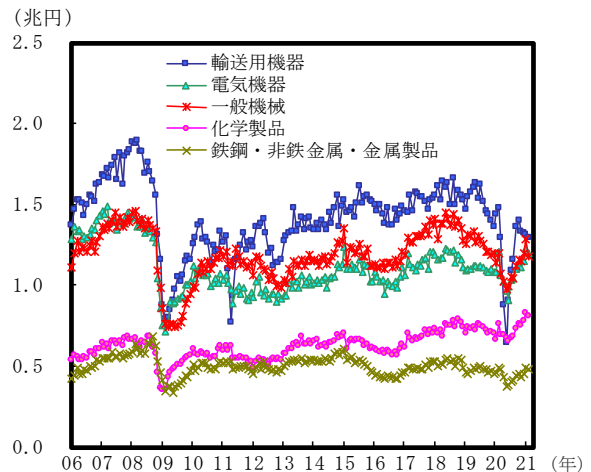


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

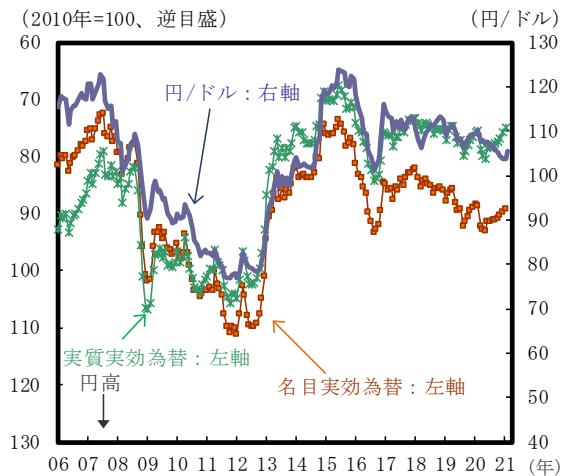


(注) 季節調整は大和総研。  
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

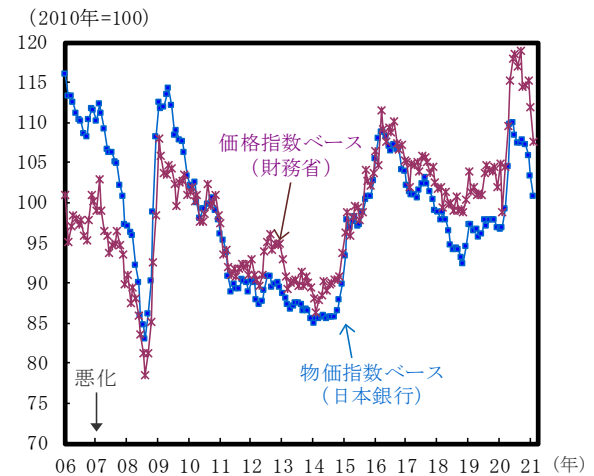


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。  
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2020/09	2020/10	2020/11	2020/12	2021/01	2021/02		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲4.9	▲0.2	▲4.2	2.0	6.4	▲4.5	100.0	▲4.5
食料品	15.6	21.4	9.8	13.8	41.8	10.6	1.1	0.1
原料品	5.5	22.3	10.4	24.1	17.3	11.6	1.7	0.2
鉱物性燃料	▲60.6	▲68.6	▲59.9	▲51.0	▲40.9	▲40.7	1.0	▲0.7
化学製品	1.6	8.1	5.4	10.0	23.7	5.2	12.6	0.6
原料別製品	▲11.3	▲3.6	▲10.6	▲1.6	6.0	▲5.2	11.1	▲0.6
鉄鋼	▲29.1	▲20.4	▲18.5	▲11.9	▲8.3	▲6.7	3.9	▲0.3
非鉄金属	41.2	32.3	14.8	23.2	31.1	5.4	2.3	0.1
金属製品	▲12.0	1.7	▲9.6	4.3	13.4	▲2.3	1.6	▲0.0
一般機械	▲7.8	▲2.8	▲3.0	0.3	12.5	▲1.4	19.8	▲0.3
電気機器	1.0	4.6	1.0	6.6	13.3	▲0.9	17.9	▲0.1
半導体等電子部品	3.3	▲2.7	▲4.0	5.0	11.4	▲1.8	5.4	▲0.1
I C	0.7	▲7.8	▲6.4	1.4	5.3	▲3.8	3.5	▲0.1
映像機器	▲9.4	12.9	5.8	4.6	▲0.8			
映像記録・再生機器	▲7.8	20.7	10.3	8.6	▲5.9	▲3.1	0.4	▲0.0
音響・映像機器の部分品	1.7	6.4	13.4	▲11.1	22.2	▲21.6	0.2	▲0.1
電気回路等の機器	▲2.2	4.8	0.7	7.4	19.7	0.4	2.5	0.0
輸送用機器	▲7.2	▲1.9	▲4.5	▲2.7	▲8.7	▲12.8	21.8	▲3.0
自動車	▲0.5	3.0	▲3.0	▲4.2	▲5.8	▲12.9	14.3	▲2.0
自動車の部分品	▲7.7	4.0	▲2.8	2.7	▲0.5	▲1.7	4.8	▲0.1
その他	▲0.1	1.4	▲10.0	5.3	6.7	▲4.8	13.1	▲0.6
科学光学機器	▲6.9	1.1	▲11.8	▲3.6	11.1	▲2.1	2.8	▲0.1

米国向け輸出金額 内訳								
	2020/09	2020/10	2020/11	2020/12	2021/01	2021/02		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	0.6	2.5	▲2.5	▲0.7	▲4.8	▲14.0	100.0	▲14.0
食料品	10.9	1.8	13.1	16.4	26.7	▲11.0	0.9	▲0.1
原料品	7.7	29.5	▲13.7	24.8	8.8	25.7	1.1	0.2
鉱物性燃料	▲90.6	▲96.4	▲83.3	▲93.5	▲84.6	▲94.3	0.0	▲0.6
化学製品	▲1.6	▲2.1	▲13.9	▲3.2	12.7	▲3.5	8.6	▲0.3
原料別製品	▲18.5	▲9.6	▲14.3	▲1.6	▲3.6	▲11.6	6.4	▲0.7
鉄鋼	▲34.0	▲32.3	▲22.1	▲15.4	0.2	14.1	1.3	0.1
非鉄金属	▲40.2	▲39.5	▲16.9	▲10.6	▲19.2	▲26.4	0.7	▲0.2
金属製品	▲11.0	10.7	▲14.4	0.0	▲1.2	▲9.5	1.7	▲0.2
一般機械	▲19.4	▲8.6	▲4.9	▲5.8	▲7.9	▲13.9	23.2	▲3.2
電気機器	1.7	12.6	0.5	2.9	▲3.4	▲6.1	15.3	▲0.9
半導体等電子部品	▲5.8	▲1.2	6.1	0.3	3.0	▲6.8	1.5	▲0.1
I C	▲4.4	▲11.1	▲5.4	1.3	▲12.2	▲7.2	0.6	▲0.0
映像機器	▲3.4	16.4	11.0	5.6	▲5.9			
映像記録・再生機器	▲7.6	26.4	13.2	14.2	▲10.9	0.9	0.7	0.0
音響・映像機器の部分品	▲27.2	20.1	6.5	▲19.9	13.5	▲22.0	0.2	▲0.0
電気回路等の機器	4.1	9.3	1.7	4.8	6.9	▲8.4	1.6	▲0.1
輸送用機器	12.2	15.3	3.5	2.1	▲6.7	▲20.7	33.6	▲7.6
自動車	19.1	22.5	6.6	3.9	▲0.6	▲19.7	25.5	▲5.4
自動車の部分品	▲1.1	18.6	6.1	12.8	▲8.5	▲10.2	6.1	▲0.6
その他	19.6	▲7.3	▲6.6	2.7	▲9.2	▲8.6	10.9	▲0.9
科学光学機器	▲10.8	9.6	2.7	▲1.0	▲0.7	▲3.1	2.5	▲0.1

EU・英国向け輸出金額 内訳								
	2020/09	2020/10	2020/11	2020/12	2021/01	2021/02		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲24.0	▲19.4	▲18.2	▲17.8	▲22.4	▲3.3	100.0	▲3.3
食料品	▲9.3	11.0	12.1	▲5.5	▲4.7	20.2	0.6	0.1
原料品	▲14.7	▲14.3	▲38.1	▲31.3	▲12.8	▲7.3	0.9	▲0.1
鉱物性燃料	▲91.8	▲84.9	▲90.2	▲62.3	▲8.9	▲43.1	0.1	▲0.1
化学製品	▲12.8	2.6	5.7	4.1	▲5.5	8.1	12.8	0.9
原料別製品	▲32.4	▲17.1	▲20.7	▲18.9	▲6.5	▲1.5	6.5	▲0.1
鉄鋼	▲47.1	9.7	▲24.7	▲40.7	▲7.8	▲2.5	0.9	▲0.0
非鉄金属	▲52.0	▲28.7	▲20.6	▲14.2	▲25.8	19.6	0.8	0.1
金属製品	▲25.3	▲20.2	▲22.9	▲0.6	13.9	5.3	1.5	0.1
一般機械	▲26.5	▲19.2	▲8.8	▲13.8	▲18.5	▲4.1	22.4	▲0.9
電気機器	▲16.4	▲12.3	▲11.0	▲1.3	▲8.1	7.5	19.6	1.3
半導体等電子部品	▲9.8	▲1.0	▲10.6	2.5	3.9	3.5	2.5	0.1
I C	▲9.3	▲9.6	▲17.0	▲6.1	10.7	▲5.7	1.0	▲0.1
映像機器	▲12.8	15.6	0.9	26.6	1.9			
映像記録・再生機器	2.4	38.8	13.3	43.5	19.2	▲8.6	0.7	▲0.1
音響・映像機器の部分品	▲17.8	▲9.7	▲22.8	▲28.7	10.1	▲8.5	0.2	▲0.0
電気回路等の機器	▲24.0	▲18.8	▲16.3	▲6.9	▲9.4	▲1.6	1.6	▲0.0
輸送用機器	▲20.5	▲27.6	▲29.4	▲33.7	▲28.7	▲13.8	23.6	▲3.7
自動車	▲20.2	▲34.4	▲35.5	▲49.4	▲32.6	▲24.0	12.5	▲3.8
自動車の部分品	▲14.0	▲3.4	▲9.2	▲0.7	▲1.3	4.0	7.1	0.3
その他	▲36.8	▲25.0	▲27.1	▲23.5	▲44.7	▲5.7	13.5	▲0.8
科学光学機器	▲14.8	▲10.0	▲17.2	10.7	▲0.9	0.7	3.9	0.0

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2020/09	2020/10	2020/11	2020/12	2021/01	2021/02		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲2.0	4.4	▲4.3	6.1	19.4	▲0.8	100.0	▲0.8
食料品	18.3	24.4	6.7	14.5	53.5	14.3	1.3	0.2
原料品	7.2	25.9	19.1	30.9	21.1	15.1	2.5	0.3
鉱物性燃料	▲34.7	▲49.1	▲47.5	▲32.3	▲24.0	▲24.9	1.4	▲0.5
化学製品	0.8	9.4	5.6	11.7	31.8	5.5	16.3	0.8
原料別製品	▲6.3	0.5	▲6.5	1.0	13.8	▲3.6	13.8	▲0.5
鉄鋼	▲26.8	▲18.6	▲15.5	▲11.9	▲0.3	▲5.4	5.2	▲0.3
非鉄金属	54.4	41.9	23.3	31.9	37.8	6.3	3.5	0.2
金属製品	▲11.8	▲1.7	▲8.6	3.8	19.4	0.3	1.7	0.0
一般機械	0.2	3.2	▲4.7	1.9	26.0	3.1	19.7	0.6
電気機器	2.8	4.9	1.4	8.5	20.7	▲0.5	21.7	▲0.1
半導体等電子部品	4.2	▲2.9	▲4.3	5.2	12.1	▲2.0	8.6	▲0.2
I C	1.1	▲7.8	▲6.2	1.5	5.7	▲3.9	6.0	▲0.2
映像機器	▲16.7	▲2.6	▲3.5	▲12.4	▲3.0			
映像記録・再生機器	▲15.8	4.6	2.9	▲13.3	▲10.7	▲3.8	0.3	▲0.0
音響・映像機器の部分品	4.3	▲2.9	15.4	▲9.2	26.5	▲24.1	0.3	▲0.1
電気回路等の機器	▲0.7	6.2	1.4	10.9	24.9	2.2	3.4	0.1
輸送用機器	▲12.6	▲0.9	▲12.3	9.8	▲5.8	▲12.1	8.4	▲1.1
自動車	▲3.9	0.1	▲5.8	7.1	▲3.2	▲7.3	4.5	▲0.4
自動車の部分品	▲15.2	▲5.4	▲11.2	▲3.8	3.2	▲0.0	3.4	▲0.0
その他	▲3.4	8.5	▲12.5	5.9	23.8	▲3.0	14.8	▲0.4
科学光学機器	▲5.8	▲0.0	▲14.6	▲7.7	15.4	▲3.2	3.2	▲0.1

中国向け輸出金額 内訳								
	2020/09	2020/10	2020/11	2020/12	2021/01	2021/02		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	14.0	10.2	3.8	10.2	37.5	3.4	100.0	3.4
食料品	14.9	10.5	9.1	18.3	76.9	28.2	0.7	0.2
原料品	11.2	30.3	40.3	79.6	58.3	39.9	1.9	0.6
鉱物性燃料	▲14.1	▲46.2	▲20.1	▲47.5	91.2	▲31.9	0.5	▲0.3
化学製品	4.1	4.0	1.8	7.6	40.6	▲1.4	16.5	▲0.2
原料別製品	30.4	9.8	2.8	6.0	40.9	3.2	11.7	0.4
鉄鋼	14.3	▲0.0	▲4.8	▲13.7	11.7	▲7.9	3.2	▲0.3
非鉄金属	101.6	34.5	31.4	44.8	104.0	41.2	3.9	1.2
金属製品	0.8	3.3	▲4.0	4.0	42.9	8.2	1.8	0.1
一般機械	20.7	15.4	2.4	6.0	44.3	10.7	24.2	2.4
電気機器	4.4	4.6	2.2	8.1	32.0	▲1.4	20.4	▲0.3
半導体等電子部品	▲14.5	▲16.1	▲17.0	▲6.4	4.1	▲13.6	5.9	▲1.0
I C	▲28.8	▲29.7	▲26.7	▲15.9	▲10.0	▲18.6	3.8	▲0.9
映像機器	▲18.2	7.2	0.7	▲20.4	▲6.3			
映像記録・再生機器	▲19.2	11.3	5.2	▲24.3	▲14.6	▲1.3	0.4	▲0.0
音響・映像機器の部分品	19.2	▲11.4	9.0	▲28.9	64.9	▲39.7	0.4	▲0.3
電気回路等の機器	9.8	15.7	9.0	18.4	38.0	0.6	3.5	0.0
輸送用機器	23.5	16.1	4.1	6.3	12.6	0.9	10.8	0.1
自動車	33.6	22.4	12.3	11.2	13.5	3.5	6.1	0.2
自動車の部分品	8.8	5.0	▲4.4	▲0.6	10.4	▲0.4	4.4	▲0.0
その他	13.5	18.6	9.0	25.8	43.0	4.0	13.3	0.5
科学光学機器	▲5.6	▲10.9	▲18.1	▲20.0	0.7	▲14.4	4.0	▲0.7

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成